

十二支の話こ (標準語)



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所
イラスト：うじいえ ひろみ
カラーリング：みやかわ みなみ

昔、暦は十二の数から作られていました。

し（子）、ちゅう（丑）、いん（寅）、ぼう（卯）、しん（辰）、し（巳）、ご（午）、
び（未）、しん（申）、ゆう（酉）、じゅつ（戌）、がい（亥）の十二でした。

暦を作る神様は、これをもっとみんなにわかりやすくして使わせたいと思って、それぞれの年に動物の名前を当てはめることにしました。

世界中の動物に、おふれを出して、何日の何時に、朝早く来たものから順番を決めると言いました。

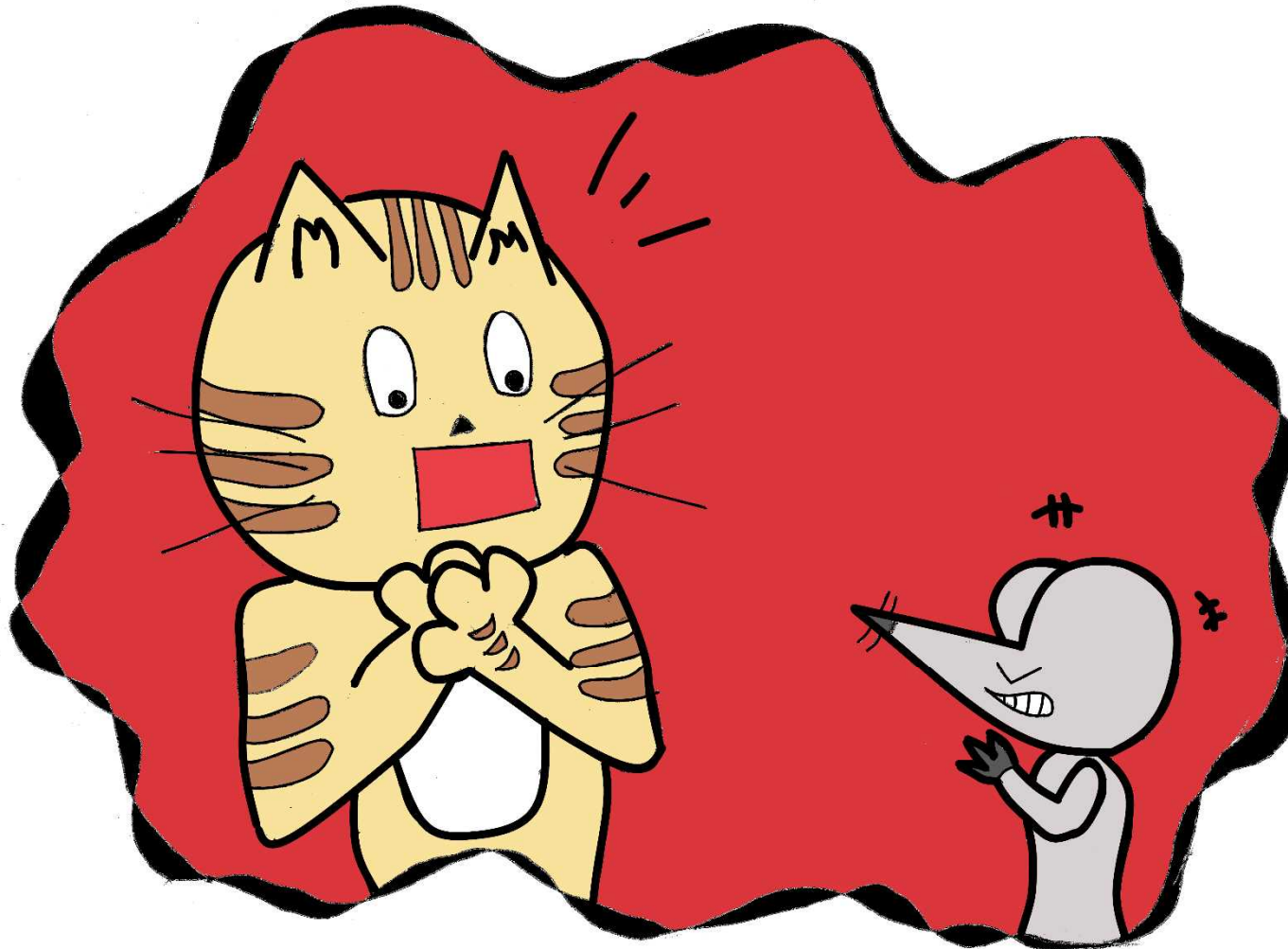


牛は、足が遅いので、前の晩から支度をして、夜中のうちに出発することにしました。

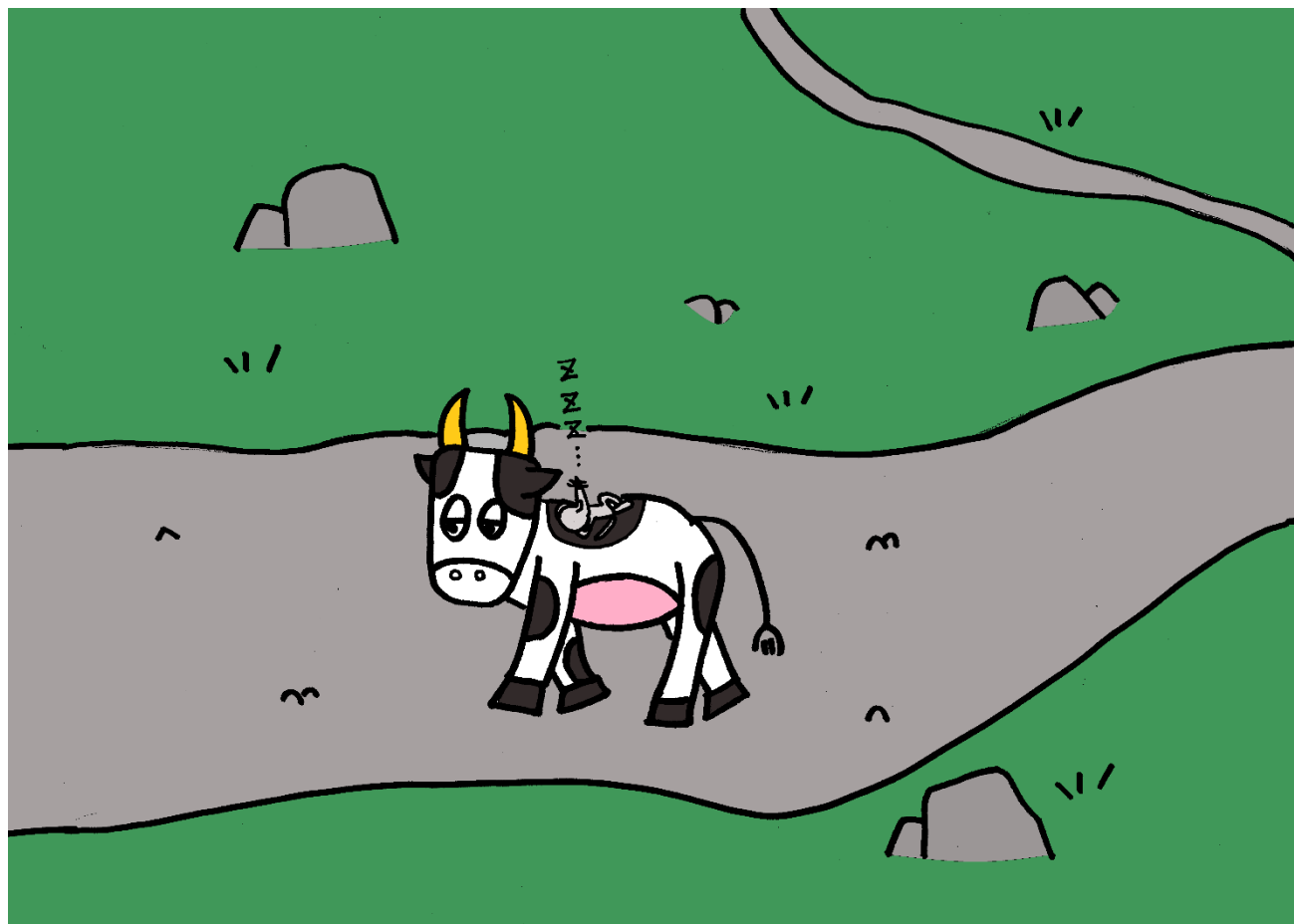
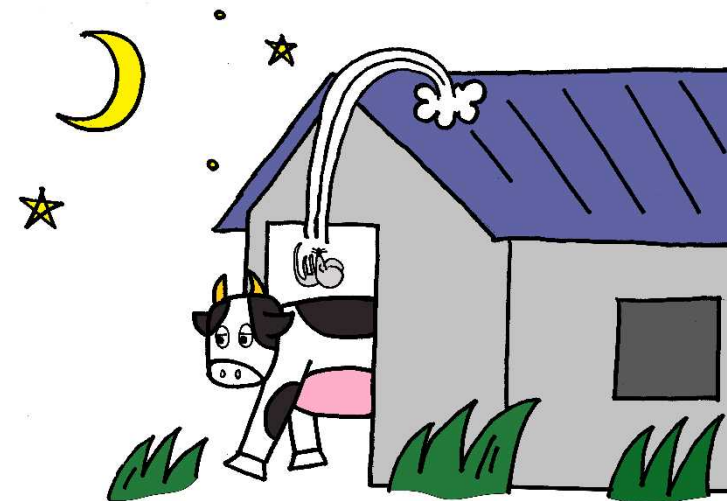
ねずみはとても頭が回りました。干支の一番になるくらいですから。

猫は少しおっちょこちょいでした。あれ、いつだっけ？と、日にちを忘れてしまいねずみの所に聞きに行きました。

ねずみはする賢く、猫を遅らせようとして、『あさっての朝だよ』と、一日遅い日を教えました。



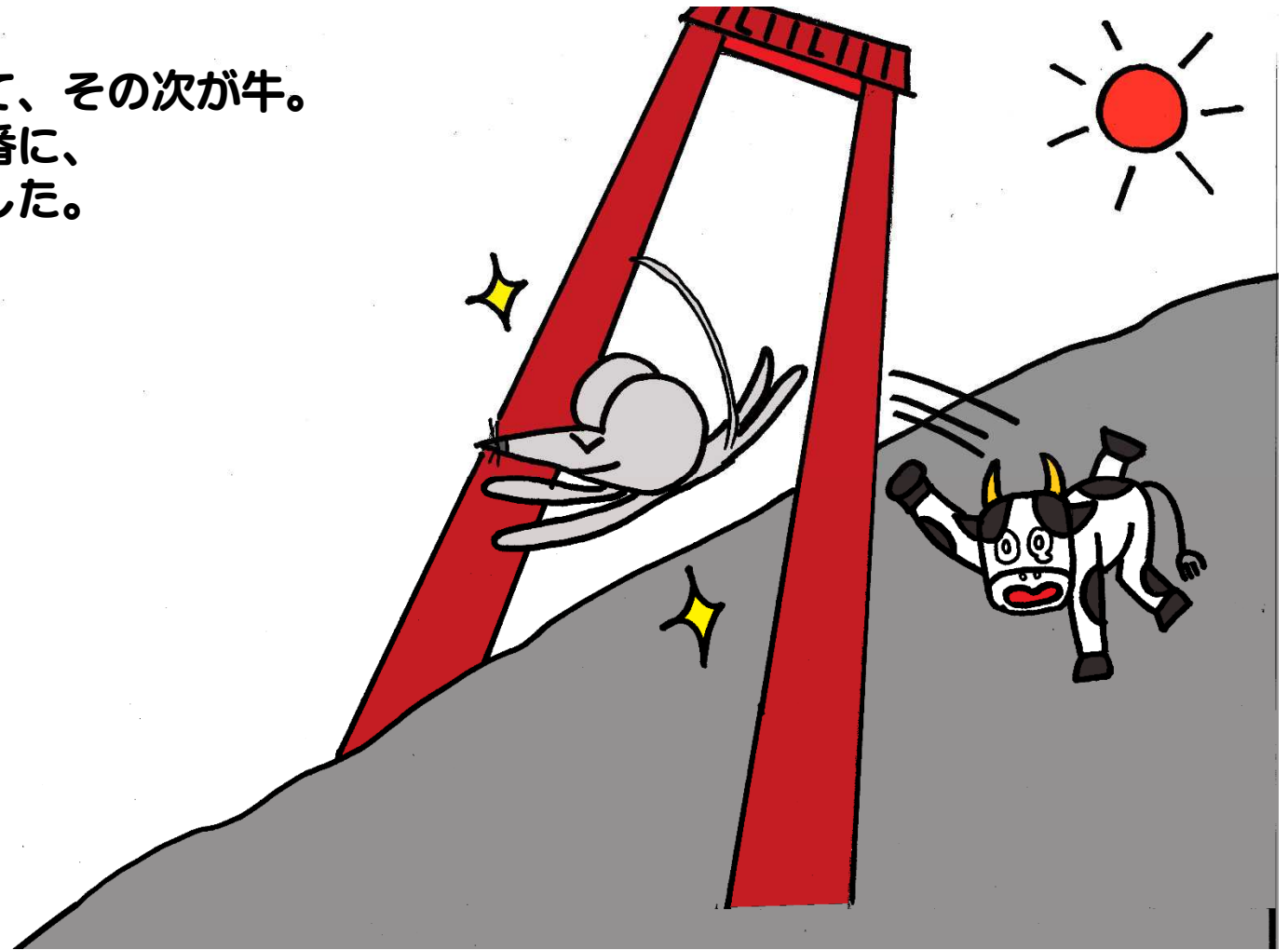
それから、ねずみは牛小屋の上で待機しておいて、夜中に牛が出掛ける時に、ちょっと牛の背中に飛び乗りました。



牛はゆっくりですがそれでも出来るだけ急いで、神様が決めたゴールのお社まで来ると、まだ誰もいませんでした。

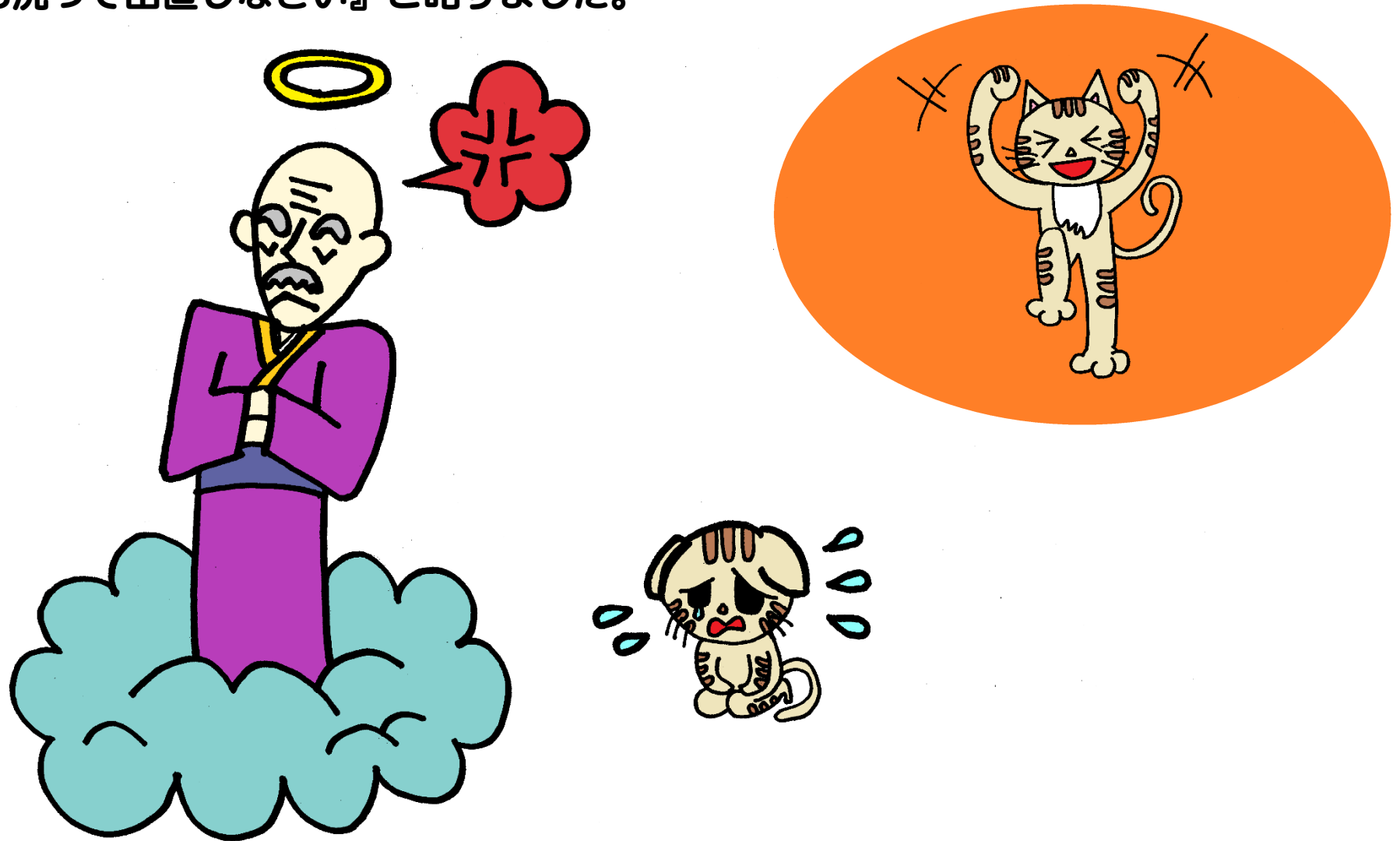
『やったー！一番だー！』と叫ぶと、あと一歩か二歩のところまで、ねずみが牛の背中からポーンと跳ねて、牛の前に出ました。

それで、ねずみが一番になって、その次が牛。
それから次々と走ってきた順番に、
寅、卯、辰・・・と決まりました。



猫は、次の日の朝早く神様の所へ来て
『あら、誰も来てないや！私が一番だ！私が一番だ！』と大喜びして叫びました。

神様は呆れてしまって、
『何を寝ぼけてるんだ！それは昨日終わってしまったことだ！なんておっちょこちょいな猫だ！顔でも洗って出直しなさい』と叱りました。



それからというもの、猫は恥ずかしがって、いつも顔を洗うようになりました。

それと、ねずみを見ると、いつも追いかけて回して、かみ殺して、怨みをはらそうとすることができるようになりました。



おしまい